

## デイリー・ジーザス・ニュース #332

### イエスの復活と永遠の宣教

#### 空の墓

天使が女性たちに現れて言った。「彼は復活した」  
ルカ24.4-8 ( 並行聖書：マタイ28.5-8、マルコ16.5-8 )

=====

4 <sup>M</sup>彼らが墓の中に入ったとき、<sup>L</sup>イエスの遺体がないことに驚いていると、突然、稲妻のように輝く衣を着た二人の男が彼らのそばに立った。<sup>M</sup>一人は白い衣を着た若者で、右側に座ったので、彼らは驚いた。

5 女たちは恐れて顔を地に伏せたが、男たちは言った。

<sup>MT</sup>「恐れることはありません。あなたが十字架につけられたイエスを探していることを私は知っています。イエスは復活されました！ここにはおられません。<sup>MT</sup>来て、イエスが横たわっていた場所を見に行きましょう。」

「なぜ、生きている方を死人の中に捜すのですか。6 イエスがまだガリラヤにいたころ、あなたたちと一緒にいたとき、こう言われたことを思い出さない。」

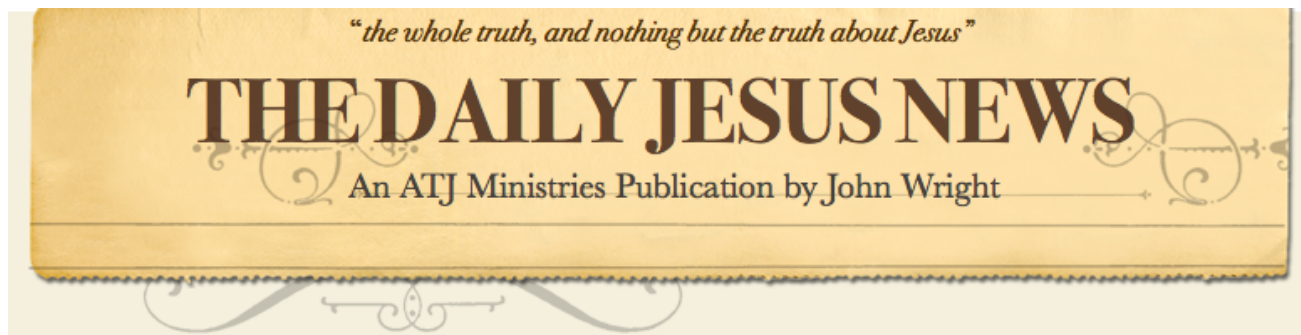
**7 「人の子は必ず罪人たちの手に引き渡され、十字架につけられ、そして三日目に復活しなければならぬ。」**

<sup>M</sup>さあ、急いで行って、<sup>M</sup>弟子たちとペテロにこう言いなさい。<sup>MT</sup>「イエスは死人の中から復活しました。<sup>M</sup>あなたたちより先にガリラヤへ行かれます。あなたたちはそこで、イエスにお会いできるでしょう。イエスがあなたたちに約束されたとおりです。」

8 <sup>L</sup>すると彼らは彼の言葉を思い出しました。

<sup>M</sup>婦人たちは震え、当惑しながら出て行き、<sup>MT</sup>墓から逃げるように急いで立ち去りました。<sup>MT</sup>恐れながらも喜びに満たされ、弟子たちに知らせるために走りました。<sup>M</sup>恐れていたのに、道中だれにも何も言いませんでした。

=====



注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ゴルゴタ近くの新しい園の墓
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第9段階: イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの復活と40日間の宣教
	日曜早朝: 空の墓
タイトル:	天使たちが女性たちに現れて言いました。「イエスは復活されたのです！」

今日の朗読には、イエスの墓にいた天使たちが、イエスの遺体を探しに来た信仰深い女性たちに初めて告げた復活祭の告知が含まれています。この告知はそれ以来、毎年ますます多くの人々、そしてますます多くの言語で繰り返されてきました。

「彼は復活した！」

アーメン。確かに彼は復活したのです。

女たちは、白く輝く二人の天使の突然の出現に恐怖し、そのメッセージに当惑しました。神が御子の復活についての最初の天使による知らせを女たちに託し、イエスの最初の二度の顕現も女たちに託したという事実は、これらの記述が歴史的に真実であることを力強く証明しています。

1世紀の男性なら、女性をこれほど重要な真理の第一の、そして主要な証人とするような物語をでっち上げることはできなかったでしょう。イエスの文化においては、女性の証言は法的に価値がありませんでした。だからこそ、コリント人への第一の手紙15章にあるパウロの復活の記述は、イエスが男性に現れたことだけを述べているのです。

パウロは、イエスがそうであったように、天使がまず女性たちに現れたという事実を否定していたわけではありません。パウロが生活し、宣教活動を行っていた男性優位の社会では、これらの事実は重要ではなかったため、パウロはこれらの事実に触れませんでした。福音書にこれらの記述が含まれているのは、実際に起こった出来事がまさにそのように起こったからです。福音書記者たちは、これらの詳細を記さざるを得なかったのです。

天使たちが女性たちに、イエスの死と復活についての御言葉をどのように思い起こさせたかに注目してください。天使たちは、女性たちの信仰が、自分たちの感覚的な経験ではなく、イエスの言葉に根ざしたものとなることを願っていました。また、イエスが横たわっていた場所にまだ残っていた布を証拠として示しながらも、イエスに従い、女性たちの信仰をイエスの御言葉の確かな土台に据えようと努めました。

マタイとマルコは、イエスが彼らに会うためにガリラヤへ行くようにという命令を記録しました。数週間後にイエスが弟子たちにガリラヤで与える「大宣教命令」は、イエスがそこで弟子たちに与えた他のすべての教え、例えば「山上の教え」を完結させる最後の命令でした。ですから、ガリラヤでイエスに会うことは、主の計画の不可欠な部分でした。

戸惑い、恐れ、そして喜びが入り混じった不思議な感情に満たされた女たちは、墓から逃げ出し、天使たちの言葉を使徒たちに伝えに行きました。彼女たちはまだ、イエスが死から蘇ったという真実を理解していませんでした。力強く輝く天使たちとの近距離での遭遇にまだ衝撃を受けていたからです。しかし同時に、神からのメッセージを使徒たちに伝えるという重要な任務を託されたことに、大きな喜びを感じていました。天使たちの言葉はまだ理解していませんでしたが、何か素晴らしいことが起ころうとしているという希望と期待を抱いていました。

過去4日間の悲しみとトラウマを乗り越え、トンネルの出口に明るい光が差し込んだように思えた。女性たちは、その日の朝に何が待ち受けているのか、知る由もなかった。それは、復活したイエスご自身との直接の出会いだったのだ。

応用：

天使たちは痛烈な問いかけをしました。「なぜ、生きている方を死者の中に捜すのですか？」もしイエスが死んでいたら、あの墓の中にいたはずです。しかし、イエスは生きていました。ですから、まず死の家から出て行ったのです。イエスは復活によって死を滅ぼしたのです。

死者のために設計された墓にイエスが留まる理由はなかったのです。

死者の中にイエスを見つける者は誰もいません。受難週の時にイエスが言われたように、「**神は生きている者の神であり、死んでいる者の神ではない**」のです。しかし、私たちはしばしば、神の永遠の命を欠いた、死んだものに問題の解決策を求めることで時間を無駄にしています。

生けるイエスだけが、私たちのあらゆる必要に応えてくださるのです。イエスはいつでも、私たちの内に、そして私たちと共に生きておられます。なぜなら、イエスはインマヌエル、すなわち私たちと共に住まれ、決して私たちを見捨てたり、離れたりすることのない神だからです。イエスが生きて私たちと共におられることを初めて信じる時、私たちはイエスの生ける臨在を見出すのです。

あなたは自分を満足させるために死んだものをどのように探しているのですか？

代わりに、あなたを完成させるために、どのようにイエス様に頼りますか？